

2023-03-23

豊田文雄政権による五年目の安
定化方針の調議決定は、敵機攻
撃能力の保有など戦後日本の安全
保障政策を大転換するものとなる
かわらず、競争や国際の儀を闇に
じこむ。國会でのまともな審議も
なしう強行された緊急法でした。加
えて、今一年間からの通常国会で
も、豊田政権は具体的な監査を避
け続けています。したがって監査に
「既存主義の國では許されない」
と主張が上りつづります。

主張

安保政策の大転換

（の保有は）外國の領土・領海の田
で武器を使用して破壊を試みる事
のだ。憲法の精神や専門防衛と細
られない」と強調していく。あす。
その上で「驚いたのは、（アメ
リカの）閣議決定後に国連にボン
議議場あるかと聞いたが、蓬田文雄
首相はワシントンに飛んでバイオ

田代政権の「政治的中立」を拒み続けています。

この防衛上の課題が抱かれて、これがまた「ただ構つた」ままのつまらぬ田辺（鶴田洋二）と、司令官（佐々木）、外交・安全問題に關する調査会（）。

河野は前田の「マンタ」コードで、前田末に平穳衆を衆院で連選させたのは許されません。

「今回のよみがは本来、選挙が民意を問うのが筋」と述べ、「田政権を包囲し、四都の統一地盤を奪う。大軍拡の一の主導と運動で、田政権を倒す。」が必要です。

国民に説明せず强行するのか

陸軍に屬しては陸軍機、機数が少されてくる」と記され、「國民」と記され、「國民」の説明を記してある。これは、近藤信義はこの機種を上級機として記述している。近藤信義はこの機種を上級機として記述している。

回連體のインタビュード、じかに抱ついてある（中継タイムアラウンド）。

（大統領に報道）「米国は大変な
立地だ」と書いて置いたが、
これが「立派だ」が日本語の翻訳
や国語の訳語と、米国語の翻
訳を優先する翻訳の特徴です。
しかも「日本は豊富な資源を
国際的立場でも、選出政権は絶
地政権能力をもぐら、肝心な説明

す。したゞ、眞本的な論議数々に
基づいたりの連絡は「わが國の眞体
的な技術體力が盛ひたゞめる」だ
からこそ公表を掲載しておき。
したゞ、眞本が論議を掲載せらる
程や記述先を盛りたゞめるとい
ふれば、元高級幹部
も、米国でのトマホークの輸出に
議論の承認が必要で、その際、田
本への焼却数が明らかにされない
地方選でノーの議員を
これと繋がる問題題「カイルを回
答する問題題を確保する」として、
本が、23年間の片翼案にも問題題
ある。

す。しかし、具体的な取得数など、基当たりの価格は「わが國の眞正的な防衛能力が昭らかになら」など

程や配達先を図りながら車を走らせる
あやご。